

# 性的マイノリティ（LGBT等）に関するアンケート

## 集計結果

**質問1** 性的マイノリティ（LGBT等）ということばを知っていましたか。

- ① 知っていた（意味も知っていた）…15
- ② 知っていたが、意味は知らなかった…0
- ③ 知らなかった…1

**質問2** 性的マイノリティ（LGBT等）についてどのような考えや、イメージを持っていますか。（複数選択可）

- ① 性の多様性・個人の人権として尊重すべき…15
- ② 受け入れがたい存在…0
- ③ 自分自身や周りに当事者がいるため、身近に感じる…10
- ④ 芸能人など公表する人が増えてきたので、身近に感じる…10
- ⑤ 差別や偏見を受けている…12
- ⑥ オープンにできず、隠している人が多いと思う…15
- ⑦ からだの性を尊重すべきである…1
- ⑧ その他

**質問3** 性的マイノリティ（LGBT等）の方々が暮らしやすいまちをつくるための取組は必要だと思いますか。

- ① 必要だ…14
- ② どちらかといえば必要だ…2
- ③ どちらかといえば必要ない…0
- ④ 必要ない…1

**質問4** 性的マイノリティ（LGBT等）の方々に対する必要な支援はなんだと思いますか。（複数選択可）

- ① 啓発活動（講演会、イベント、意識調査など）…13
- ② 行政職員や教職員に対する研修の実施…11
- ③ パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入…13
- ④ 当事者が気持ちや情報を共有できる居場所づくり…12
- ⑤ 支援者の育成・支援団体の形成・運営…11
- ⑥ 専門相談窓口の設置…11
- ⑦ その他

○学校教育の中で人権学習や性教育ができていない。互いを尊重する学習が必要。共生社会を目指すためにも。

○多目的トイレの設置や制服等性別だけで決められていることを自由化する等、生活しやすいように配慮してほしい

**※パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度とは、性的マイノリティを含むカップル及び生計同一の子を「結婚に相当する家族関係」と認め、「パートナー・家族」とすることを自治体が公に証明する制度のことです。**

**質問5** 性的マイノリティ（LGBT等）の方々が生きづらいと感じるのはどういう場合だと思いますか。（複数選択可）

- ① 周囲の理解がない…14
- ② いじめや差別や偏見を受ける…15
- ③ 相談・支援体制が不十分である…12
- ④ 婚姻や書類等への性別記載など法律等の整備が不十分である…13
- ⑤ オープンにできず、隠して暮らさなければならない…14
- ⑥ その他

○多様性の理解が不十分。古い因習に囚われている人が多い。地域の風土がある。

**質問6** 性的マイノリティ（LGBT等）の方々日常生活を営むうえで直面している課題はなんだと思いますか。（複数選択可）

- ① 学校生活（制服・宿泊行事・トイレ更衣室・プール）…14
- ② 就労・職場（採用試験・トイレ更衣室・福利厚生制度）…15
- ③ 住居（賃貸住宅の入居拒否）…12
- ④ 公的サービス・社会保障…12
- ⑤ 医療（受診・パートナーの手術の同意・安否情報の提供・看護）…14
- ⑥ 民間サービス（家族と同等のサービス提供 [家族割引・生命保険の受取など]）…4
- ⑦ その他

○周囲の無理解。

○性同一性障害の治療が手術以外保険適用外であり金銭的負担が大きい

**質問7** あなたの年齢を教えてください。

- ① 10歳未満…0
- ② 10歳代…0
- ③ 20歳代…1
- ④ 30歳代…0
- ⑤ 40歳代…10
- ⑥ 50歳代…2
- ⑦ 60歳代…2
- ⑧ 70歳代…1
- ⑨ 80歳代以上…0

**質問8** あなたは性的マイノリティ（LGBT等）の当事者ですか。（任意回答）

- ① はい…0
- ② いいえ…14
- ③ わからない…1